

現在の府中市の学童クラブおよび放課後子ども教室の状況
(第1回対策部会での報告事項概要)

(1) 今後の市内小学校・学童クラブ・放課後子ども教室の方向性

府中市教育委員会が「府中市学校施設改築・長寿命化改修計画」及び「府中市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方」を策定し、各学校における将来的な児童数の増減に対応するとともに、学校改築時に学童クラブ、放課後子ども教室の専用スペースを一体的に整備し、複合化する方針を出している。これに伴い、各小学校改築後は、学童クラブ、放課後子ども教室の2事業の在り方などがより重要となっていく想定である。

(2) 学童クラブ在籍児童数の増加

一部の市内小学校における児童数増加に伴い、学童クラブの入会児童数が増加しており、施設が過密化している。その対策として学校施設の借用や、近隣の学童クラブ用地確保に取り組んでいるが、諸課題があり難航している。また、この10年で学童クラブの平均入会率は9.3%増加し、35.6%となり、3人に1人程度は入会している状況である。市内でも地域により偏りはあるものの、今後10年間の入会児童数予測では、10年後の令和14年には、市全体で現在の入会児童数より510人増加すると見込んでいる。

(3) 放課後子ども教室の現在の状況

放課後子ども教室は各小学校の特別教室などを学校の授業に支障のない範囲で放課後に借用して実施をしているが、各小学校の放課後子ども教室の規模は在校人数や使用教室の広さ(児童は普段生活している普通教室に比較して広い・狭い)に関わらず学校によって様々である。一日の平均参加者数の最小は7.8人、最大は48.6人と、放課後の居場所としての活用に差がある状況である。